

山国川水系 耶馬溪ダムの洪水調節とその効果(平成24年7月3日 梅雨前線)

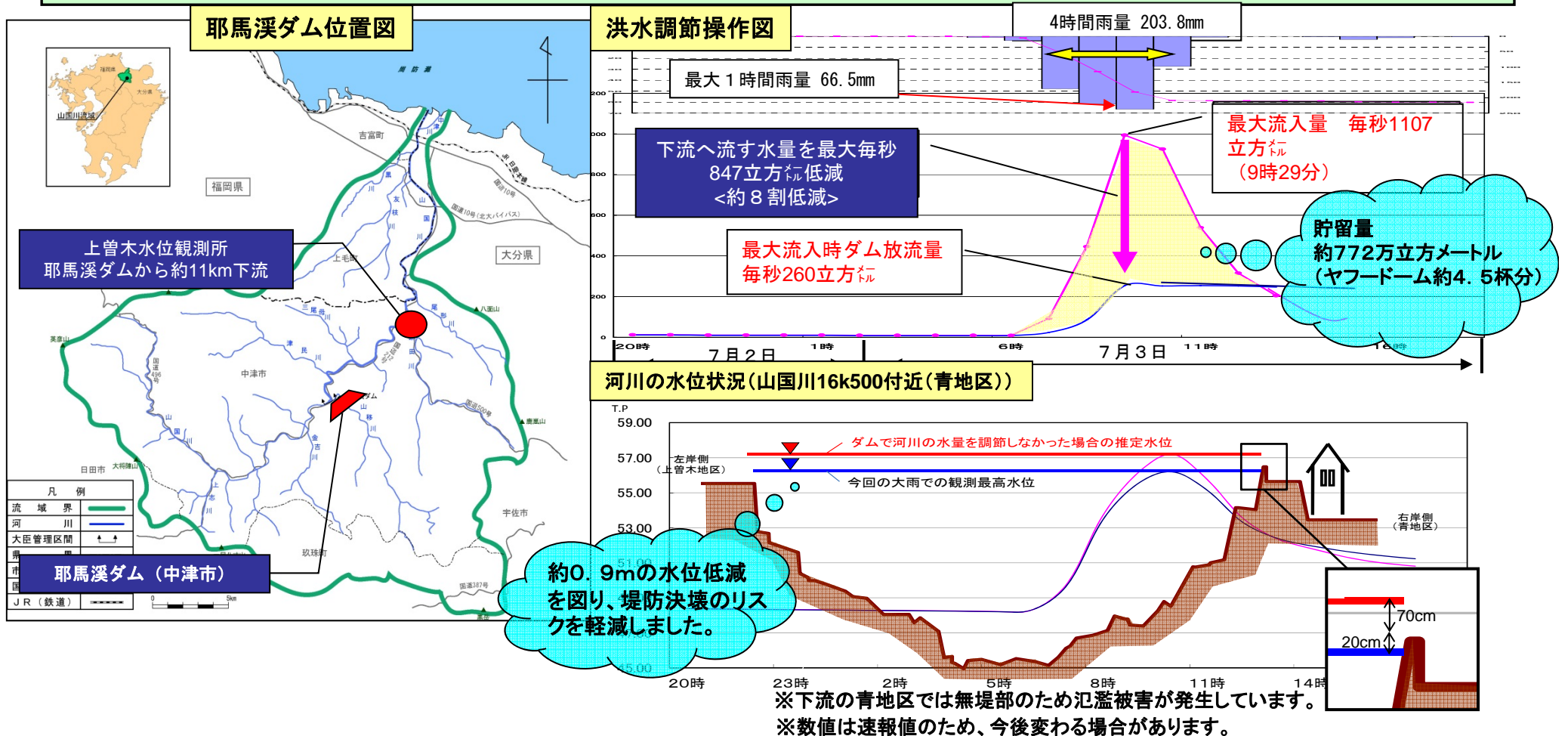
～河川水位約0.9m低減～

■山国川水系耶馬溪ダムの上流域において、4時間で203.8mmの雨量を観測する出水があり、最大流入量は毎秒約1107立方メートルに達し、耶馬溪ダムの管理開始以降最大を記録しました。

(これまでの最大 毎秒941立方メートル H5.9.3台風13号)

■今回の洪水調節操作において、約772万立方メートル(福岡ヤフードーム約4.5杯分)の水をダムに貯留し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒約847立方メートル(約8割)低減しました。

■この結果ダム下流の上曾木観測所地点(大分県中津市本耶馬溪青地区)では約0.9mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。



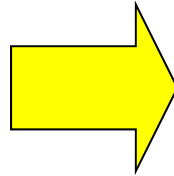
山国川水系 耶馬溪ダムの洪水調節とその効果 (平成24年7月3日 梅雨前線)

平常時



洪水操作前水位 161.11m

ダムへ貯めた水量



今回

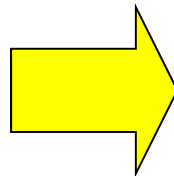


今回の操作中最高水位 170.81m(7月3日12時20分頃)

ダムへの流れ込み



平水時の状況 (流入量毎秒約1立方メートル)



7月3日の状況 (流入量毎秒約860立方メートル) 8時50分頃